

下水汚泥資源の有効利用に関するアンケート(速報版) (りんに関する部分を抜粋)

対象:自治体、回答率:75.7% (751/992)、実施:H21年1月

下水汚泥資源利用協議会

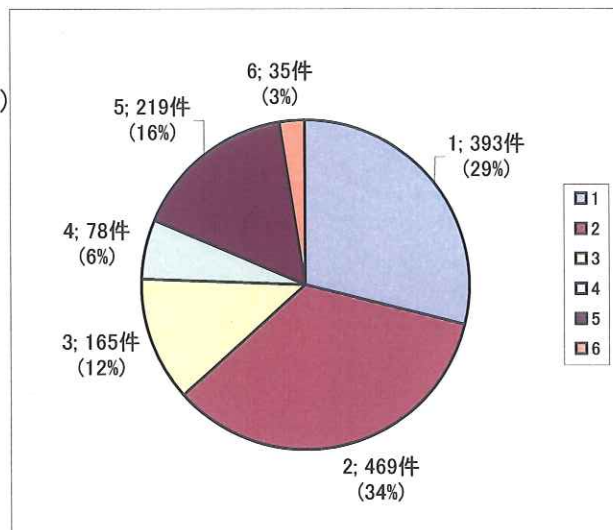
設問1 最近、りん肥料の価格が高騰しており、下水汚泥に含まれるりんについて関心が高まっています。りん回収技術についてご回答ください。

● 下水道におけるりん回収技術の導入にあたりどのような情報に関心がありますか。(複数回答可)

1. りん回収の技術の種類及び概要
2. りん回収のコスト
3. りんの回収率
4. 野菜などへの肥料効果(施用調査データ等)
5. どの程度需要があるか
6. その他(具体的にご記入ください)

有効回答数:1359件

	件数
1	393
2	469
3	165
4	78
5	219
6	35



その他の主な内容[記入有:35件]

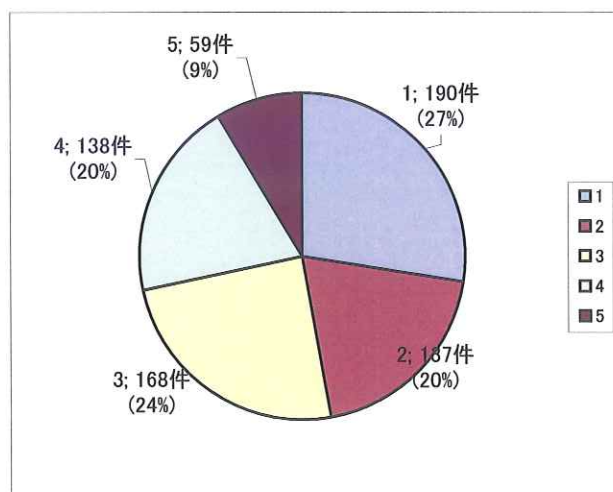
国、県による事業の推進状況
財政的なメリットがあるか。(歳入増になるなら検討する)
将来のりん取引価格の見通しと事業費償還期間との関連(投機的な値動きの影響をヘッジする必要がある)
小規模下水道で使える技術があるのか
現在、肥料として有効利用されており、りんだけ回収に関心がない。
農業関係者から、利用されない形でりんは畑に大量にあると聞いたことがあるが、回収技術はないのか
りん回収技術がすぐに導入できない場合において、焼却灰を備蓄することが方法は考えられないか。

設問2 下水道におけるりん回収技術について関心ある事項を選択してください。(複数回答可)

1. MAP (Magnesium ammonium phosphate) 法
2. 晶析法 (HAP法)
3. 凝集沈殿法 (Ca塩)
4. 下水汚泥焼却灰からのりん回収技術
5. その他(具体的に記入してください)

有効回答数:692件

	件数
1	190
2	137
3	168
4	138
5	59



その他の主な内容[記入有:55件]

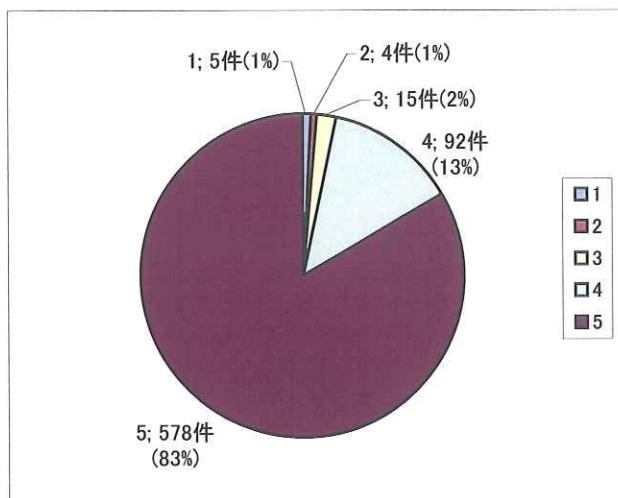
高度処理によるりん回収とそのシステム評価(嫌気・好気法(AO法)等)
汚泥炭化による燃料化と組み合わせて導入可能なりん回収の方式
Dephanox法による脱窒性脱リン
フォストリップ法
りん回収法の種類と概要
低コストと維持管理が容易な方法
りん回収技術の内容が解らない。

設問3 りん回収技術の導入について選択してください。

1. 導入済み
2. 導入計画がある
3. 導入の是非を検討中
4. 情報収集の段階
5. 導入予定はない

有効回答数: 694件

	件数
1	5
2	4
3	15
4	92
5	578

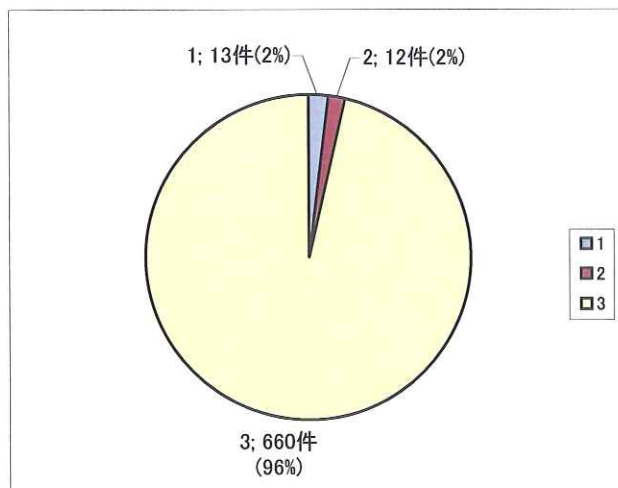


設問4 りん回収について他部署などから問い合わせがありますか。

1. 問い合わせがあった(農業部局から)
2. 問い合わせがあった(その他の産業から)
3. 問い合わせはない

有効回答数: 685件

	件数
1	13
2	12
3	660



設問5 設問において、「回答番号1又は2」を選択された方へ、検討の度合いについて選択してください。

1. 基本事項についての問い合わせのみ
2. 回収についての具体的連携について話し合った
3. 協議会等を設けている

有効回答数: 24

	件数
1	21
2	2
3	1

※2件、設問4で回答番号1or2以外で回答(有効件数には含んでいません)

